

タイトル： CLILのための空間作り：導入と実施のための戦略

日時： 10 月 2（日） 18:00-19:30

発表者： ネイト・オルソン氏

Location: Zoom

下記の登録フォームから簡単な登録が必要です。ご登録を確認後、イベント当日にZoomリンクとパスワードをメールでお送りします。

発表概要

CLIL (Content and Language Integrated Learning) とは、「英語を使って歴史を学び、歴史を通して英語を学ぶ」というように、言語を通してコンテンツを学び、コンテンツを通して言語を学ぶという二元的な教育手法のことです。近年、日本でも CLIL の導入が進んでいます。CLIL はより良い教育のための変革的な教育法であり、いわゆるグローバルに通用する人材を育成できる教授法であると謳われています。しかし、日本の英語教育関係者は CLIL をどのように導入していけばよいのか模索しているのが現状です。この対話型セッションでは、発表者がこのアプローチの歴史、理論、そして現在の日本の英語教育の政策にどのように適合しているかについて簡潔に説明します。このセッションはレクチャーを目的としたものではありませんので、ご自身のアイデアを共有したり、他の参加者から学んだりする準備をしておいてください。

JALT 会員・学生の方：下記リンクからのご登録で無料でご参加いただけます

JALT 会員以外の方：参加費支払いが理由での不参加が生じないよう、本イベントは無料でご参加いただけます。しかし、JALT および JALT 北海道の会員でない方は、興味深く有益なイベントを提供するための継続的な努力を支援するために、PayPal を通じて簡単な 500 円の寄付をご検討ください。ご寄付は下記の登録フォームから簡単に行うことができます。

<https://forms.gle/ms3dBXsJehyYpxzi9>

CLIL アンケート

今回のワークショップの内容が、参加者の皆様に最適なものとなるよう、CLIL に対する皆様の興味や背景について、所要時間 30 秒程度の簡単なアンケートへのご協力をお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSci9DQ4eR2rhABeMhPmm_8MJyZdcbDY7sRmm52k0roWPSz4VA/viewform

発表者略歴

上智大学応用言語学博士課程に在籍中。ミネソタ州出身、日本在住 12 年間、小学校から大学まであらゆるレベルで英語を教授。元 ALT で、JET プログラムの都道府県アドバイザーを務めた後、TESOL の修士号を取得し、現在は中等教育までのレベルにおける CLIL 実施のための教師のコラボレーションに関する研究に従事している。

